

広報たかもり

発行 阿蘇郡高森町役場 TEL (高森局09676) ②0611 [代表]

人口			
— 7月31日現在 —			
9,756人	男… 4,739人	女… 5,017人	
世帯数	…………… 2,636		
転入 36	出生 9		
転出 16	死亡 13		



深まりゆく南郷の秋

めっきり秋めいてきた南阿蘇。朝夕の空気はさわやかで日中さえ清涼な微風がほおをなでる季節となりました。高原の野辺には早くもススキの穂が波立ち、生い茂った樹林もしだいに色づき始めて秋の気配を感じさせます。

南郷谷の水田地帯では出穂も間近か。ことしは天候の異変もなく作柄は良好とか。これから取り入れまで農家の人達にとっては忙しい実りのシーズンが到来します。

第217号
昭和52年

9月1日

おもな内容

- 第三回臨時町議会ひらく……………(2)
- 国民年金の給付額9.4%引き上げ……………(3)
- 華やかに造り物競演(風鎮祭)……………(4)~(5)
- 苗木の盗掘やめて!……………(6)
- 高森の歴史散歩・郷土の博物誌……………(7)
- みんなの広場・解放の力……………(9)
- 町民文芸・おめでたおくやみ……………(10)

10月2日	9月25日	9月18日	9月11日
小林 病院	寺崎 病院	東 病院	馬原 病院
高森② 0075	高森② 0378	高森② 0309	高森② 0646

日曜
在宅医

診療は午前9時から午後5時まで

俳句



去る孫に来る孫ありて夏休み
手花火の消えて母子に闇まとふ
踊り子の眉目もよければ手振りよく
来客に庖丁研ぎて洗鯉
町をゆく御輿行列雲の峰
遠花火明日は発つ子と酌み交はし
揚花火山にこだましひろごれり
百日紅山門狭く咲きほこる
婦省子のギター大事に持ち帰り
歓声の中の南郷揚花火
入り相の鐘の音遠く響しぐれ
夏祭帰省せぬ子に思い馳せ
建て具みな取り払はれて避暑の宿
風般もすぼみ更けゆく祭の夜
墓掃除終れば昼の汽車の行く
踊りつつ袴もとに入る風涼し
事務の娘の浴衣愛らし宵祭
三日月や祭さわめきいつか消え

肥後狂句

お寄り、茶呑み話も溜つとる
声、選挙事務所に見染められ
墓掃除、移民先から来る替為
声、目覚しいなるアサリ売り
いやなこつ、憎まれ役イなる意見
墓掃除、一ト株残す彼岸花

内田 あや女
松岡 信子
桐原 寿
林 久恵
柴田 ふい子
古庄 泰子
平田 り子
岩下 扶美
山村 ふみ子
浦塚 南天
岡本 琴司
林田 一声

おめでた おくやみ

出生	S52.7.16~8.15 受付			
(住所)	(保護者)	(出生児)	(性別)	(生年月日)
旭通	西村 伸一	綾	女	52.7.21
旭通	荒牧 芳弘	真澄	女	52.7.20
旭通	田代 憲士	暎憲	男	52.7.24
天神	佐藤洋一郎	友美	女	52.8.1
前原	佐藤 文利	武善	男	52.7.26
横町	甲斐 信夫	真奈美	女	52.8.3
草部	田上 国光	智継	男	52.7.19
矢津田	本田 五男	博樹	男	52.7.24
永野原	工藤 義男	夕子	女	52.7.29
中	二子石文男	美雪	女	52.8.2
津留	平田 博喜	奈々	女	52.7.7

死亡

(住所)	(遺族)	(続柄)	(死亡者)	(年齢)	(死亡年月日)
西丁	宇藤 育三	長女	宇藤こず恵	2	52.7.17
昭和	佐藤アサカ	夫	佐藤 明	73	52.7.19
天神	宇藤 絹江	夫	宇藤 三藏	54	52.7.27
昭和	岩下 晴男	母	岩下 ナキ	85	52.8.5
草部	田上 国光	長男	田上 智継	0	52.7.22
"	富永 賢治	母	富永フミ子	51	52.7.21

雑詠

御幸祭

幼き児童の樽みこしに送られ
吉見大神天上界に御幸逝さる
仰げば大空に眼もくらむ日輪
世界を照し給ふ

社倉 今泉多美江(84)

今宵^{十六夜}いざよい月見々と
暗黒の世を照し民草を守る
社倉とはその昔
神社の蔵物を納めし倉
社ノ倉の名あり
貴社ノ倉に住居する者
悪心悪業あらば神罪あり
おそれ、つつしむべし
神は正しき者に組し給ふ

お寄り、やがて山から月も出る
墓掃除、陸軍伍長知らん孫
若さが取り柄、まあだ再起の夢ある
墓掃除、涙も添えて上ぐる水
ぶらさげて、盆、正月に戻る顔
お寄り、好きな「アライ」も揃えとる

馬原 馬笑
田上 黙公子
林 不忘

(一)寄付

- △ 香典返し
- △ 色見西丁の宇藤育三さんから(長女、こず恵さん・2歳死去)
- △ 高森昭和の岩下晴男さんから(母、ナキさん・85歳死去)
- △ 一般寄付
- △ 町商工青年部からチャリティ夜市の益金を
- △ 高森昭和の平島俊行さんから
- △ 高森旭通りの平島俊勝さんから
- △ その他
- △ 高森昭和の岩下晴男と佐藤民夫さんから(昭和老人クラブ)
- △ 芹口の田上ミヨトさんから(草部保育園)

第二回臨時町議会ひらく

補正予算案(一般会計)を可決

工事契約四件も承認

高森町議会の五十二年第三回臨時議会は八月二日召集され、本会議が開かれました。会期を一日間と決め、総額二百二十九万一千円

の五十二年度一般会計補正予算案など七議案を原案どおり可決しました。可決したおもな案件は次のとおりです。

◇高森町住宅新築資金等貸付条例を制定

国の住宅新築資金等貸付制度要綱の改正に伴い条例を制定したもので、この条例は同和地区の居住環境の整備を図るため、当該地域の不良住宅を新・改築する際に、必要な資金が貸付けられます。

◇企画室を企画課に変更

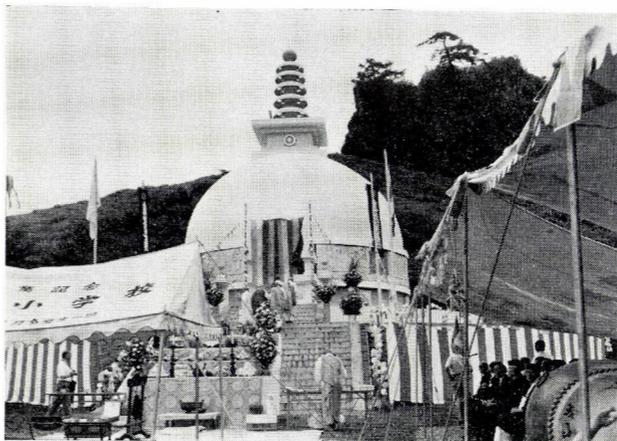
地籍調査の実施に伴う係の新設および町の企画、総合調整の拡充強化を図るため、役場の企画室を企画課に昇格させました。

◇五十二年度高森町一般会計補正予算(案)について

補正額二百二十九万一千円を加え、町の一般会計は十四億九千三

百一十一万六千円となりました。今回は参議院議員補欠選挙に伴う歳入、歳出補正がおもなものです。

高森平和塔の落慶大法要



「高森平和塔」が完成

盛大に落慶式

◇諸工事の請負契約について

次の各工事を施工するにあたり競争入札で落札した建設業者との契約が決まりました。

【河原小改築】▽契約金額 六千三百四十九万七千円▽工期 契約の日から五十二年三月二十日まで▽契約の相手 阿蘇町「佐藤工務

店」
【林道赤羽根線開設工事】▽契約金額 二千二百八十八万八千円▽工期 契約の日から五十二年十二月十日▽契約の相手 高森「松田興業」
【黒岩地区飲用水供給施設】▽契約金額 一千六十八万八千円▽工期 契約の日から五十二年一月三十一日▽契約の相手 熊本市「成松工業」
【町道取首一水堤線改良】▽契約金額 二千七百八十九万一千円▽工期 契約の日から五十二年十一月三十日▽契約の相手 永野原「西田建設」

津留(今)町議 近くドイツ訪問



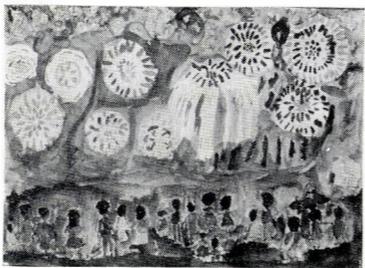
高森下町の津留今朝寿さん(三三)町議は、九月二十四日から十月十八日まで

の二十五日間、ドイツ連邦共和国で開催される日独青少年セミナーに参加されることになりました。

この日独青少年指導者セミナーは財団法人世界青少年交流協会が年一回行う文部省の委託事業で、全国の応募者の中から三十人を選考、無償で派遣するものです。

津留さんは、さきに行われた第一次(論文)、第二次(語学、面接)選考で選ばれ、訪独中は主にボン、フランクフルト、ハンブルグ、東西ベルリンなどの各都市を視察、個人の研究資料に基づく研究討議や青少年対策について専門家、大学、国会、政界関係者とのセミナーを行うことになっていました。写真津留さん

みんなの広場



「花火大会」 草部北部小 3年 ますだ みどり

美化作業続ける奇特な人

津留馬原範三(74)

だれでも思いつきの「よいこと」をやることはできますが、それと違って黙々と長く続けて、つらぬいていくことは容易なことではありません。

私は犬に引っぱられて、いつも早朝から散歩が続いています。こんな善意を続けている二人をよく見かけます。私たちの隣り組の方で、いつの日にか、みなさんに紹介したいものだと思っています。と、数日前の早朝、Y氏が一心に道路両側の草切りをやっておられるのに出会いました。Y氏は出勤前、自分の家を中心

に、約二百メートル近い県道の高い土手の草を切り、すでに四、五年間もこの努力奉仕を行っているのです。

ほかの一人のG氏も同様に道の草切りや美化清掃などを続けておられ、気の合ったお二人には、まったく頭の下がる思いがします。秋にはその道々には草花まで咲き乱れます。

私はこの光景を見るたび、園児のような素直な本来の人間に戻り、何かささいな善意を続けたいと思わずにはおられません。

近代化教室 参加の収穫

色見西丁 宇藤清子(45)

昨年五月から一年間、私は山室ツユ先生を講師に迎えた近代化教室華道部で学習する機会を得ました。最初は「お花どん生けとったっちゃ、渡世になろうかい」という考えでしたが、受講を続けていくうちに生活のリズムの中でお花を生ける心のゆとりを見出し、なによりもの収穫だったと回顧しています。幸いにして講師の先生が地元におられたこともあって、部活動は非常に活動的でした。

機械化の進んだ今日、畑に行くにも街に出るにも車を使い、多忙な時期には近所の人と顔を合わすこともなく、この学習の場こそ、人と人との心のふれ合い、いこいの場でもあったわけですね。わずかな実習でしたが、人に接し、勉強したことが、嫁、姑として将来、農村婦人の地位向上にきつと役立つと信じています。

このような場を築かれた関係者の皆様のご協力を感謝し、今後大勢の地域婦人が参加され、近代化教室がますます発展することを祈っています。

解放の力

石川さんは小学五年までしか学校に行っていない。十一歳ごろからの子守奉公の少年労働が、今日それ自体違法な状況であり、教育を受ける権利の侵害であり、基本的人権の保障されない状況であることは論ずるまでもありません。このこと自体が、部落差別の現実なのです。

学力保障と部落差別

高森町同和推進教員の会 ③

この裁判の第一審において、石川さんは一言も発言しませんでした。一警官が刑期について約束したことを信じ、死刑の判決の時に、おいてさえも、彼は全く発言しませんでした。

この無知の中に押込められて部落差別の本性を知ることもなく、弁護士と警官のどちらかが自分の味方かも知れない、その彼が第二審の第一回公判で全く突然に、「私は中田善枝さんを殺していません」と初めて口を開いたのです。

お知らせ

配達日指定電報のご利用を

お祝い電報は心の通う贈りものです。大安吉日は祝電もラッシュです。お祝い当日および前日は115(電報局)も大変ごみあいますので、十日前から予約できる配達日時指定電報をご利用ください。

「配達日指定」とは、発信人の請求により発信人が指定する日(午前または午後)の区別を指定し、電報を配達する取扱いです。

「歌会始め」の詠進要領決まる

新春に皇居で行われる「歌会始め」のお題と詠進歌の詠進要領がこのほど宮内庁から発表されました。来年のお題は「母」。歌には母(はは)の語意のある他の言葉たとえば「たちね」「めおや」など用いてもよいが、人間をはじめ生命のある動物の女親を題材とした歌に限ります。

詠進歌は一人一首、未発表の歌に限ります。詠進の期間は九月一

日から十月十一日(消印有効)まで。あて先は「〒100東京都千代田区千代田一番一号 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。応募要領は総務課にあります。

農林省の農業者 大学校学生募集

農林省が設立した農業者大学校の五十三年度学生募集が次のとおり行われています。

【募集人員】約五十人

【応募資格】高卒または同等以上の学力があると認められる者

【応募手続】最寄りの農業改良普及所または県農業改良主務課へ関係書類を請求のうえ、同所へ十月十日までに提出してください。

【選考期日・場所】十一月二十九日から三十日、農業者大学校で試験。

県勤労者美術展の作品募集

第八回熊本県勤労者美術展が十月五日から県立美術館で開かれませんが、県では次の要領で作品を募集しています。

【出品者の資格】県内の事業所に勤務する勤労者であること

【出品数と作品の規格】①作品は未発表のもので一人各種目一点とする②作品の規格は次のとおりで規格外は受け付けない

▼絵画Ⅱ五〇号以内のもので額に入っているもの。水彩画以外はガラス張りではないこと。▼書Ⅱ仕上りの長さが百七十センチと八十センチ以内の額装、軸仕立・屏風、裱張り

【出品手続】希望者は所定の用紙を用い、九月十七日から二十四日まで近くの労政事務所へ申込む

こと(郵送可)。ただし十八日と二十三日は受け付けない。詳しくは労政事務所におたずねください。

主婦のパートと税金

奥さんのパート収入も、その金額によって税金がかかったり、主人の税金にも影響したりするのをご存知でしょうか。パート収入が年間七十万円まででしたら、ご主人の税金を計算するときに「配偶者控除」が受けられます。しかし、七十万円を超えたと控除が受けられないこととなりますし、更に、年間、七十九万円を超えたと、奥さんにも税金がかかります。

10月2日に町青年祭を開催

町青年団は「町団青年祭」を企画し、十月二日の公演に向け連日激しい練習を続けています。

出し物は演劇、にわか舞踊、コーラスなど多彩。場所は高森中学校体育館で、午後六時開演です。近所お誘い合わせのうえ、ぜひご観覧ください。入場料は無料。

菊陽町の無縁墳墓改葬について

無縁墳墓の改葬について菊陽町が菊陽町長から次のような周知依頼がありましたので、縁故者があれば期日までに届け出てください。

- ▼墳墓の所在地 ①菊陽町菊陽町大字久保田字柳ノ尾一六八四・一六八五 ②同町大字久保田一四九九
- ▼墓地の名称 中代墓地
- ▼改葬の理由 点在する墓地を整備する
- ▼墓数「八百五基(約九百体)」
- ▼改葬先 同町大字久保田字柳ノ尾一六八五
- ▼届出期限 五十二年十月十日
- ▼届出先 菊陽町菊陽町役場

最優秀者に二子石さん

献血健康レディー コンテスト

第一回献血・健康レディーコンテストが、七月二十九日熊本市の日赤会館で行われ、これに応募した高森旭通りの二子石久代さん(三三)写真中央が最優秀者に選ばれました。



このコンテストは、日赤会支部が愛の献血助け合い運動推進月間を契機に、血液に対する理解度と献血の重要性を再認識してもらおうと、特に婦人層献血者を対象に行い、十六歳から六十四歳までの二百二十一人が応募しました。審査は年齢別の三グループごとに行われ、第一次選考(書類・写真)、第二次選考(血液分析・面接)をめぐって二子石さんが、最優秀者に選ばれました。

国民年金

6カ月繰上げ、7月から実施 給付額9.4%引き上げ

国民年金制度は、昨年、給付水準の引上げなどの大幅改善を行いました。その後における社会経済情勢の変動に適切に対応するため、本年度においても、福祉年金の内容をさらに充実させるとともに、拠出年金についても、物価上昇に対処した改善が図られました。

今年の年金額の物価スライドによる改定は、厚生年金保険、船員保険については五カ月繰り上げて六月から、国民年金については六カ月繰り上げて七月からそれぞれ実施されることになりました。年金額のスライドによる改定と、年度平均の全国消費者物価指

数が、前年度の物価指数の百分の百五を超え、または百分の九十五を下回るようになった場合に、その比率を基準として翌年度の十一月(国民年金については一月)から年金の額を改めるといふものです。今年の物価スライドにより引き上げられる率は、従来の年金額

福祉年金(52年8月から)		
年金種別等	改正前	改正後
老齢福祉年金	162,000円 (月額13,500円)	180,000円 (月額15,000円)
障害福祉年金	1級 243,600円 (月額20,300円)	270,000円 (月額22,500円)
	2級 162,000円 (月額13,500円)	180,000円 (月額15,000円)
母子福祉年金	子等1人 211,200円 (月額17,600円)	234,000円 (月額19,500円)
	子等2人 235,200円 (月額19,600円)	258,000円 (月額21,500円)
	子等3人以上 3人合算(月額4,800円)加算 4人合算(月額4,800円)加算 5人以上(月額4,800円)加算	同

老後に生きる喜びを

9月15日は敬老の日

九月十五日の敬老の日から二十一日までの一週間は老人福祉週間です。

さきに発表された我が国の平均寿命は、男七十二・一五歳、女七十七・三五歳で、世界でも有数の長寿国となっております。年々著しい伸びを続けております。また全人口の中に占めるお年寄りの比率も高くなり、いわゆる「高齢化社会」が到来しつつあります。老人、老後問題は、いまや国民的課題です。きたるべき敬老の日

この年金額改定通知書は、すでに社会保険庁業務課から受給者に発送されていると思われま。国民年金の九月の定期支払月に支払われる額は、これまでの年金額の一カ月分(六月分)と改定後の年金額の一カ月分(七月分)とを合算した額が十二月に支払われます。

を機に、すべての人々が老人福祉についての関心と理解を深め、お年寄りを敬愛し、長寿をお祝いするとともに、お年寄り自身も、時代とともに生きる意欲を高め、その豊富な知識と経験を社会に役立たせていただきたいと思えます。県下各地では関係諸団体、ボランティアなどの運動行事が行われますが、本町でも各校区ごとに敬老会を催し、長寿をお祝いすることにしています。

かに造り物競演



に往へ5万人

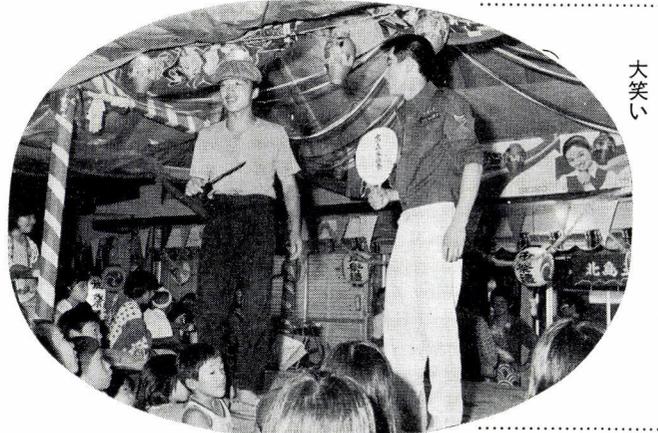


役場職員の前夜行「日本の夜明け」

二日間、祭り一色 踊りや仮装で賑わう

町恒例の風鎮祭は、ことしも八月十七・十八の二日間、呼びものの「山引き」をクライマックスに花やかな祭り絵巻が繰りひろげられ、延べ五万人（高森署推定）の人数でにぎわいました。この祭りは宝歴二年（一七五二）

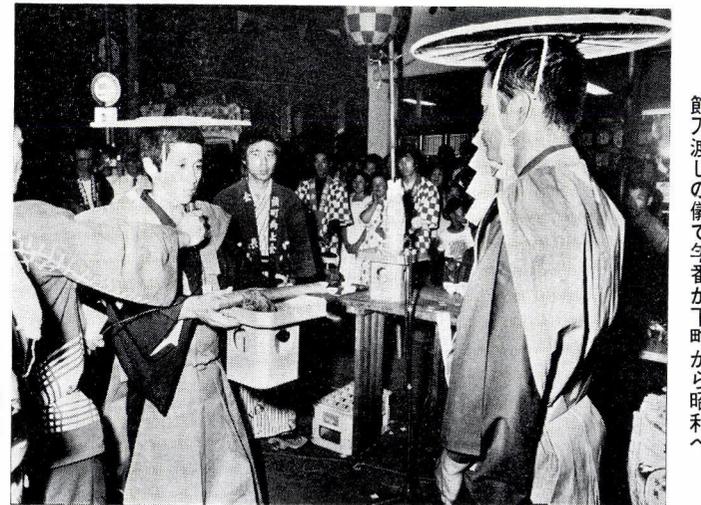
強風をはずめ五穀豊じょうを祈願する祭りとして始まり、昔は大きな山車（ダシ）を引き回したことから別名「山引き」とも呼ばれています。祭り初日は午前零時を期して、シャミ、太鼓などのハヤシによる



向工会青年の移動にわかに観客は大笑い



1等になった昭和第7組の「コンゴインコ」



節刀渡しの儀で年番が下町から昭和へ

高森の歴史散歩

□14

本田 秀行

「私の先祖は後藤又兵衛の三男後藤志摩浪人いたし野尻手永馬場に居住していたが、倅久右衛門のとき農家となり馬場村に村立いたした。その弟小助から四代農業に従っていたが、恵助の代に至り芹口村庄屋役、数十年相勤め天明六年（一七八六）一領寄正となった」と、先祖附に記してあります。

失した際、久右衛門が馬場に招請して再建したが、今の永秀寺の起りです。恵助の倅の利兵衛はすぐれた人物であったと見え、手永三役の一つである御山支配役を命ぜられ、それから四代七十年にわたり、この重職についていますが、これは珍らしいことです。御山支配役は主として藩有林の管理にあたり、後には殖産事業も担当しています。安政二年（一八五五）に二代目利兵衛が藩庁に提出した報告書が残っています。

御山支配役の後藤家 藩の植林管理に尽力

後藤又兵衛基次は黒田家臣で、主人長政に従って朝鮮の役、関ヶ原戦に大功を挙げたが、事情あって主家をはなれ、慶長十九年（一六一四）の大阪の陣に奮戦して戦死しました。非常な名将でありながら終わりを全うしなかったのです。その子孫は細川氏を頼り熊本に落ちてきます。志摩は何かの事情で野尻手永にはいり馬場に村立したので、又兵衛の長男と伝えられる長秀は出家して坪井に永秀寺を建立したが、万治元年（一六五八）の洪水で流

苗式万七百式拾本。但村々空地床、嘉永六年松御仕立。一、拾式町九反六畝、此杉穂式拾老万四千七百五拾本、尺廻以下。但天保十四年村借山。

一、拾六町六反、この杉穂式拾三万式千四百本、尺廻以下。但御山畔空地、天保四年以来杉松御仕立。一、五町六反 此松苗式万七百式拾本。但村々空地床、嘉永六年松御仕立。一、拾式町九反六畝、此杉穂式拾老万四千七百五拾本、尺廻以下。但天保十四年村借山。

約二十一年間にこれだけの植林とその管理をしています。この努力の蓄積が往年の野尻手永の美林の形成を見たのです。もちろん御山

支配後一人ではあることではありませぬ。村毎に居た下役の「御山の口」、それに多くの農民が協力することによって実現したのです。利兵衛の跡を継いだ貞四郎の報告書には、鹿子原山拾五町に松苗を八万九千本植えたともあります。このような私どもの先祖たちの汗と膏（あぶら）によって形成された美林も一時は荒廃しかけたのですが、今また住民の努力によって

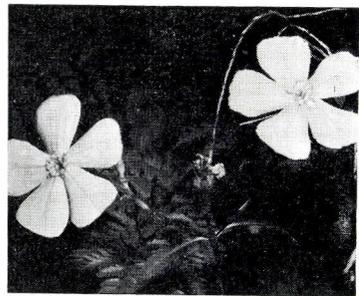
昔の姿を回復しつつあることは喜ばしい事です。この後藤家は分家が少なく、明治初年の名録には二家だけ見えます。野尻手永には今一家の後藤家が見えます。「私先祖は河原村百性にて代々庄屋役付せ付けれ九代、私（官吾）の父貞次が文化三年（一八〇六）御直触となつた」とあり、伝承を異にしています。

郷土の博物誌

⑭

秋はいつ、どこから、どのようにしのんでくるのでしょうか。空では入道雲と呼ばれる積乱雲が、うっすらと刷毛（はけ）ではいたような絹雲やうろこ雲に変わり、草いきれのむんむんしている草野では、ユウスゲやヤツシロソウなどの花がそろそろ終りかけるころ、「おやっ冷たいな」と感ずる風をお供に森の木かげを伝って、このフシグロセンノウの花とともにやってくるような気がする。

フシグロセンノウ



私小学生のころは、夏休み心に悔恨に似たうしろめたさと、激しい楽しさの後にふと訪れるあの寂しさを伴った空虚感に泣きたいような気持になるの

を野尻で過ごすのがならわしであったが、毎年この故郷の野山や川で遊びほうけて、宿題などほとんど手を付けず、いよいよ熊本へ帰るころは、子供が常であった。そのころは乗合馬車が唯一の交通機関であった。白い日除けのたれ幕をなびかせ、角笛のようなラッパを吹きながらコトコトと走る箱馬車にゆられ、私は高森峠を越えた。ちょうどその夏の終わりに、このフシグロセンノウの花は咲いていた。九十九曲りの薄暗い杉木立ちの中に、いかにも寂しげに咲いていたのは、なんだかいまの自分の気持と同じように思えるからだろうか、今でもありありと覚えていて。あれから五十年、峠は大きく変わろうとしているが、それでもまだ、あの朱色の美しい花は峠道のほとりに残っていて、私に幼かりし日を懐しく思い出させてくれる。

高森町文化財保護委員 佐藤 武之

華や

風鎮祭

「目ざまし」で祭りを開幕。昼近くには表通りの筋々に二十四基の造り物が姿を見せました。そして色とりどりの三角旗が飾られ、子供会の踊り子らが街を練り回ると町内はすっかりお祭りムード。

午後からも県警音楽隊と鶴屋パトンガールの行進をはじめ、町の民族無形文化財公演、婦人会による山引き踊りなどがあって人気を呼びました。また夜は別所の堤で納涼花火大会が催され、仕掛花火や大輪、中輪のみごとな火の供宴に観衆は大喜びでした。

二日目の十八日は、午前八時から高森阿蘇神社に向上会青年らが集まって五穀豊じょう祈願祭を行い、このあと町役場職員の手踊りと仮装行列「日本の夜明け」、商工会員による仮装行列「今昔東西警官つくし」のパレードがあり、また若衆のかついだみこしも景気よく町を練り歩きました。

この日は県外から観光客も目立ち、祭りのやま（造り物）が中央四ツ角に勢ぞろいするころには、歩行者天国となった目抜き通りは黒山のような人出。夏の高校野球に合わせた「優勝盾」や剣道具を使った「放れ駒」、サラ、ハンなど台所用品で作られた「梅にうぐいす」、軍手とモップで仕上げた「北海の白熊」など豪華な作品が見物人の前を通ると、いっせいに拍手がわき起りました。

宵やみ迫るころ、中央四ツ角で「節刀渡しの儀」がおごそかに行われ、年番が下町から昭和へ引き継がれました。このあとも向上会の移動にわかや、仮設舞台での芸能大会が続ぎ、見物人は夜遅くまで祭り気分には浸っていました。

中央四ツ角を出発する造り物



街を練る子供会の手踊り



お祭りムードを盛り上げた県警音楽隊



婦人会の山引き踊り

本町チーム大活躍

第32回阿蘇郡民体育祭



熱戦を繰り広げる女子バレーボール

第三十二回阿蘇郡民体育祭(郡体育協会・郡町村会共催)は、さる七月三十一日好天気に恵まれ、高森町など七町村十四会場で開催

どおり全種目にわたって熱戦が繰り広げられました。同日は午前九時から高森高グラウンドに約三百人の選手が参加し

苗木の盗掘やめて

町自然公園 ツツジなど受難

美しい郷土づくりの一環として町が数年前から公園や峠、道路沿いなどに花木を植え、観光地づくりを進めています。最近これを目当てにした盗掘がひん発しています。町には高森峠をはじめとして、高森公園、らくだ山、遠見塚、多々野原などの自然公園があり、ツツジ、サクラ、シャクナゲなど、ちねらわれているわけですが、とくに、ひどいのは、平和塔が建設されたらくだ山公園で、

今春植え付けたクルメツツジ七百五十本のうち約五十本が抜き取られました。町では監視を強め、盗掘防止を図ることにしています。みなさんも自然愛護に心がけていただき、このよ

宣誓を行いました。主会場の本町では陸上、バスケット、ソフト、バレー、弓道の五種目が行われ、選手は元気がいっぱい力と技をぶっつけあいました。ことし出場した本町の選手は総勢百三十四人で、昨年の六十六人に比べ二倍以上の強力の布陣、地元の声援に励んでソフトボール(女子)バスケット(女子)、柔道、弓道ではいずれも一位を獲得、ほかの種目も首尾よく上位入賞をはたしました。団体成績は、次のとおりです。

加藤正さん(七)は高森の造り物の特徴などを説明しました。このあと今村教育長が高森の歴史を紹介、町文化財保護委員の森川真理子さん(五)も高橋アナの質問にこやかに応えていました。また郷土芸能の吉見神社の神楽や婦人会の高森音頭、それに観光名所である南阿蘇国民休暇村、鍋の平キャンプ場、南外輪遊歩道、高森平和塔、田菜など奥阿蘇「高森町」のすばらしさが一時間内わたり紹介されました。写真：造り物の生中継

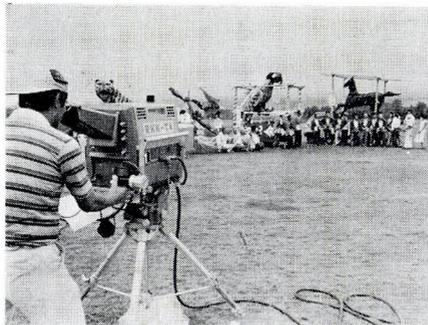
て開会式が行われ、今村町教育長の開会のことは、山室大会副会長(白水村長)らのあいさつのあと、本町の岩下靖彦選手が力強く選手

高森町を県下に紹介

RKKテレビ「あなたの10時半」

国民休暇村から生中継

RKKテレビ「あなたの10時半」の生中継放送が、八月十九日日本町の南阿蘇国民休暇村で、ありました。これは熊本放送が毎週月曜日から金曜まで、午前十時三十分から放送している生番組で、この日のタイトルは「こんにちは高森町」。あいにくのくもり日和で五岳の雄姿は見えませんでした。熊本の放送の白石制作副部長や光永ディレクターら一行約二十五人が同休暇村東側の運動広場にテレビカメラ三台をセット。地元側も特産物を会場に運び込む一方、造り物をセットするなど大わらわでした。まずオープニングで風鎮祭と造り物が放映され、岩下町長が祭りの由来を語り、造り物のベテラン



◇資源節約

ムダを省きましょう

空ビン、空カン古紙の再利用を考えましょう。また諸会合では開会、閉会の時間を守りましょう。〈社会教育委員会〉